

高円宮杯 2017 ホッケー日本リーグ女子第 4 節

高円宮杯 2017 ホッケー日本リーグ男子 H1 第 11 日目～第 12 日目

3日の記録 スポーツ

2017/09/04 朝日新聞 朝刊 17 ページ 202 文字

◇ホッケー 日本リーグ

▽男子 山梨学院大（5勝1敗）4—1天理大（4勝1敗）、岐阜朝日ク（5勝1敗）1—0飯能ク（7敗）

▽女子 駿河台大（2勝7敗）1—0聖泉大（9敗）、山梨学院大（7勝1敗1分）2—1グラクソ・スミスクライン（4勝5敗）、コカ・コーラウエスト（5勝1敗3分）2—1東海学院大（1勝8敗）、ソニーHC（7勝2分）2—2南都銀行（4勝2敗3分）、立命大（5勝3敗1分）3—1天理大（4勝3敗2分）

ホッケー：日本リーグ 3日

2017/09/04 毎日新聞 朝刊 22 ページ 188 文字

◇ホッケー日本リーグ（3日、日光市ホッケー場ほか）

▽男子

山梨学院大（勝ち点15）4—1天理大（12）、岐阜朝日ク（15）1—0アルダー飯能（0）

▽女子

駿河台大（6）1—0聖泉大（0）、山梨学院大（22）2—1グラクソ・スミスクライン（12）、コカ・コーラウエスト（18）2—1東海学院大（3）、ソニー（23）2—2南都銀行（15）、立命大（16）3—1天理大（14）

ホッケー・日本リーグ3日

2017/09/04 東京読売新聞 朝刊 22 ページ 201 文字

▽男子H1

山梨学院大（勝ち点15） 4—1 天理大（12）
岐阜朝日ク（15） 1—0 飯能ク（0）

▽女子

駿河台大（勝ち点6） 1—0 聖泉大（0）
山梨学院大（22） 2—1 グラクソ・スミスクライン（12）
コカ・コーラウエスト（18） 2—1 東海学院大（3）
ソニーHC（23） 2—2 南都銀行（15）
立命大（16） 3—1 天理大（14）

ホッケー／日本リーグ

2017/09/04 東奥日報 朝刊 11 ページ 234 文字

ホッケー		日本リーグ	
(3日・日光市ホッケー場ほか)			
▽男子			
山梨学院大	4	1	天理大
(15)			(12)
岐阜朝日ク	1	0	アルター飯能
(15)			(0)
▽女子			
駿河台大	1	0	聖泉大
(6)			(0)
山梨学院大	2	1	グラクソ・スミスクライン
(22)			(12)
コカ・コーラウエスト	2	1	東海学院大
(18)			(3)
ソニー	2	2	南都銀行
(23)			(15)
立命大	3	1	天理大
(16)			(14)

(3日・日光市ホッケー場ほか)

▽男子

山梨学院大 4－1 天理大

(15) (12)

岐阜朝日ク 1－0 アルター飯能

(15) (0)

▽女子

駿河台大 1－0 聖泉大

(6) (0)

山梨学院大 2－1 グラクソ・スミスクライン

(22) (12)

コカ・コーラウエスト 2－1 東海学院大

(18) (3)

ソニー 2－2 南都銀行

(23) (15)

立命大 3－1 天理大

(16) (14)

◇ホッケー 日本リーグ（3日・日光市ホッケー場ほか）

2017/09/04 岩手日報朝刊 12 ページ 152 文字

▽男子

山梨学院大

（1 5）

4－1

天理大

（1 2）

岐阜朝日ク

（1 5）

1－0

アルダー飯能

（0）

▽女子

駿河台大

（6）

1－0

聖泉大

（0）

山梨学院大

（2 2）

2－1

グラクソ・スミスクライン

（1 2）

コカ・コーラウエスト

（1 8）

2－1

東海学院大

（3）

ソニー

（2 3）

2－2

南都銀行

（1 5）

立命大

（1 6）

3-1
天理大
(14)

(第1クォーター10分、一時同点に追い付くゴールを決める)「先制されても時間があつたので追いつけると思っていた。第2クォーター以降も得点できるチャンスはあつたので決めきれなかつたことが悔しい」

ホッケー日本女子リーグ第4節第3日は3日、日光市ホッケー場ほかで5試合を行い、グラクソ・スミスクライン（GSK）は2位の山梨学院大に1-2で惜敗。レギュラーステージを通算成績4勝5敗、勝ち点12の7位で終了し、1~4位決定トーナメントへの進出を逃した。

上位陣との勝ち点、得失点差の関係で「5点差以上の勝利」が求められたGSKだったが、第1クォーターの開始2分に先制点を献上。10分にペナルティーコーナー（PC）からFB尾関愛美（おげきあみ）が決めて同点に追いついたが、14分にシュートリバウンドを押し込まれ勝ち越された。

その後は一進一退の攻防。GSKは粘り強く守りながら逆転を狙うもPCなどの好機を生かせなかった。第4クォーター残り3分を切ったところでGKをベンチに下げてパワープレーを仕掛けたが、ゴールは遠かった。

最終節は10月14、15の両日、岐阜県各務原市の川崎重工ホッケースタジアムでファイナルステージを行い、GSKはレギュラーステージ5~8位チームによる順位決定トーナメントを戦う。

▽女子リーグ戦

山梨学院大 7勝1分け1敗（22） 2（2-1,0-0,0-0,0-0）1 グラクソ・スミスクライン 4勝5敗（12）

GSK・FB尾関愛美（第1クォーター10分、一時同点に追い付くゴールを決める）「先制されても時間があつたので追いつけると思っていた。第2クォーター以降も得点できるチャンスはあつたので決めきれなかつたことが悔しい」

◇スポット◇ 攻撃的スタイルに手応え

地元日光で奇跡を起こすことはできなかった。

国体関東ブロック予選で敗れた強豪・山梨学院大に1点差で競り負け上位トーナメント進出の可能性が消えたGSK。それでも沼尾健一（ぬまおけんいち）監督は「国体予選より内容は格段に上。やってきたことが形になっていた」と納得の表情を浮かべた。

この日必要だったのは大量得点での勝利。第1クォーター開始直後に先制されたが、10分にPCからパスをつないで同点。しかし、14分にカウンターから勝ち越し点を許すと、第2クォーター以降は相手の体を張った守備に手こずり、決定機を生かせなかった。

元男子日本代表の小沢和幸（おざわかずゆき）コーチを招聘（しょうへい）し、今季新たに取り組んだのは積極的なプレスと早いパス回しでゴールを目指す攻撃的スタイル。終わってみれば開幕3連敗が響いた形と

なったが、MF 斎藤美咲（さいとうみさき）主将は「個々の技術は向上している。あとは最後の得点力」。リオ五輪代表のMF 柴田（しばた）あかねも「強い相手でも自信を持って戦える。細かいレシーブやパスの精度を上げればもっと強くなる」とチームの成長に手応えを感じている。

悲願のリーグ制覇は逃したが、16日から福井県で開催される全国社会人選手権大会で狙うのは23年ぶりの優勝。沼尾監督は「来季につなげるためにも目に見える結果を残して終わりたい」と期待。オレンジ軍団の挑戦は終わっていない。（生沢一浩（いけざわかずひろ））

〔写真説明〕 グラクソ・スミスクライン－山梨学院大 第1クォーター8分、グラクソのFB尾関（中央）がシュートを狙う＝日光市ホッケー場

◇ホッケー日本リーグ 山学大女子2位 ファイナルSへ

2017/09/04 山梨日日新聞 12 ページ 767 文字

ホッケーの日本リーグは3日、山梨学院ホッケースタジアムほかで行われ、山梨学院大女子はグラクソ・スミス
クラインに2 - 1で競り勝った。7勝1分け1敗、勝ち点22の2位でファイナルステージ進出を決めた。山
学大男子は天理大に4 - 1で快勝し、5勝1敗、勝ち点15で2位に順位を上げた。

山学大女子は第1クォーター3分、ドリブル突破から河村元美が決めて先行。同点に追い付かれた同1
5分には岩館聖菜のゴールで勝ち越した。その後は得点を与えずに逃げ切った。

山学大男子は第1クォーター4分、山崎晃嗣が押し込んで先制。山崎は同15分、第3クォーター14
分にもゴールを決めてハットトリックを達成した。第4クォーターにもペナルティーコーナーから得点しリードを広げ
た。

▽女子

山梨学院 2 (2 - 1) 1 グラクソ

大 (0 - 0) ・スミス

(2 2) (0 - 0) クライン

(0 - 0) (1 2)

駿河台大 1 (1 - 0) 0 聖泉大

(6) (0 - 0) (0)

(0 - 0)

(0 - 0)

コカ・コ 2 (0 - 0) 1 東海学院

ーラウエ (0 - 1) 大

スト (1 - 0) (3)

(1 8) (1 - 0)

ソニー 2 (0 - 0) 2 南都銀行

(2 3) (1 - 0) (1 5)

(0 - 1)

(1 - 1)

立命大 3 (0 - 0) 1 天理大

(1 6) (1 - 0) (1 4)

(1 - 0)

(1 - 1)

▽男子

山梨学院 4 (2 - 0) 1 天理大

大 (0 - 0) (1 2)

(1 5) (1 - 1)

(1-0)
岐阜朝日 1 (1-0) 0 アルダー
ク (0-0) 飯能
(15) (0-0) (0)
(0-0)

ホッケー女子日本L ソニー1位通過 レギュラーステージ終了 東海学院大は9位

2017/09/04 岐阜新聞朝刊 18 ページ 743 文字

ホッケー女子の日本リーグ第4節第3日は3日、大阪府茨木市の立命館ホリーズスタジアムなどで5試合を行い、ソニーHCは、南都銀行に終盤に追い付き、2-2の引き分けに持ち込んだ。レギュラーステージの全日程を終え、7勝2分けの勝ち点23、1位でファイナルステージ進出を決めた。東海学院大はコカ・コーラウエストに1-2で逆転負けし、通算1勝8敗で9位となった。

ソニーはプレスからの速攻で攻勢をかけ、第2クォーター9分、FB内藤夏紀のスィープがGKの逆を突く技ありのシュートとなった。その後相手のカウンターに手を焼いた。第3クォーター8分、第4クォーター2分とともにPCからの失点で逆転を許したが、再び猛攻を仕掛け、同クォーター7分のPCでFW深野加弥がタッチシュートを決め、土壇場で同点に追いついた。

東海学院大は第2クォーター3分、PCでFW山口未彩季のスィープにFW鳥山麻衣がタッチで合わせ先制。3試合ぶりの得点で、その後もPCを中心に追加点の好機もあったが相手の堅守にはばまれた。逆に第3クォーターのPS、第4クォーターのPCを確実に決められ、逆転を許した。

ファイナルステージは10月14、15の両日、川崎重工ホッケースタジアムで行われる。ソニー（1位）は決勝進出を懸け、立命大（4位）と対戦する。東海学院大（9位）は聖泉大（10位）との9位決定戦に挑む。

= 県関係分

ソニーHC (23) 2 (0-0、1-0、0-1、1-1) 2 南都銀行 (15)

▽得点者【ソ】内藤 (2Q 9分) 深野 (4Q 7分) 【南】早戸 (3Q 8分) 野村 (4Q 2分)

コカ・コーラウエスト (18) 2 (0-0、0-1、1-0、1-0) 1 東海学院大 (3)

▽得点者【コ】藤井 (3Q 4分) 金藤 (4Q 12分) 【東】鳥山 (2Q 3分)

岐阜朝日ク堅首 5 連勝 男子

2017/09/04 岐阜新聞朝刊 18 ページ 371 文字

ホッケー男子の日本リーグH1（1部）第12日は3日、埼玉県阿須運動公園ホッケー場などで2試合を行い、岐阜朝日クラブBD（BLUE DEVILS）は、ALDER飯能に1―0で競り勝ち、5連勝。5勝1敗の勝ち点15で得失点差による首位をキープした。

序盤から激しい攻防が続く中、岐阜朝日は第1クォーター9分、左サイドを起点にした攻撃が決まり、最後は大学生のMF堀江幸聖がタッチで決め、先制した。その後PCなどで幾度となくピンチを迎えたが、GK吉川貴史を中心とした守備陣が持ちこたえて、1点を守り抜いた。

岐阜朝日の次戦は、第13日の10日、甲府市の山梨学院ホッケースタジアムで、ともに勝ち点15の山梨学院大と激突する。

= 県関係分

岐阜朝日クBD（15） 1（1―0、0―0、0―0、0―0）0 ALDER飯能（0）

▽得点者【岐】堀江（1Q9分）

ホッケー 日本リーグ (3日・日光市ホッケー場ほか)

2017/09/04 中日新聞朝刊 17ページ 198文字

2017年09月04日 中日新聞 朝刊運動3面 17頁

立命大(16)	ソニー(23)	ラウエスト	コカ・コー(18)	山梨学院大(22)	駿河台大(6)	▽女子	岐阜朝日ク(15)	山梨学院大(15)	▽男子	光市ホッケー場ほか)	◇ホッケー 日本リーグ (3日・日
3-1	2-2	2-1	2-1	2-1	1-0		1-0	4-1			
天理大(14)	南都銀行(15)	東海学院大(3)	ミスクライン	グラクソ・ス(12)	聖泉大(0)		アルダー飯能(0)	天理大(12)			

▽男子

山梨学院大 (1 5) 4 - 1 天理大 (1 2)
岐阜朝日ク (1 5) 1 - 0 アルダー飯能 (0)

▽女子

駿河台大 (6) 1 - 0 聖泉大 (0)
山梨学院大 (2 2) 2 - 1 グラクソ・ス (1 2)

ミスクライン

コカ・コー (1 8) 2 - 1 東海学院大 (3)

ラウエスト

ソニー (2 3) 2 - 2 南都銀行 (1 5)

立命大 (1 6) 3 - 1 天理大 (1 4)

神戸新聞 2017年09月04日 月曜日 面名 SB 15 8ページ

◆ホッケー日本リーグ（3日・日光市ホッケー場ほか）
【男子】山梨学院大（勝ち点15）4―1天理大（12）、岐阜朝日ク（15）1―0アルダー飯能（0）
【女子】駿河台大（6）1―0聖泉大（0）、山梨学院大（22）2―1グラクソ・スミスクライン（12）、コカ・コーラウエスト（18）2―1東海学院大（3）、ソニー（23）2―2南都銀行（15）、立命大（16）3―1天理大（14）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

） 【男子】山梨学院大（勝ち点15）4―1天理大（12）、岐阜朝日ク（15）1―0アルダー飯能（0）

【女子】駿河台大（6）1―0聖泉大（0）、山梨学院大（22）2―1グラクソ・スミスクライン（12）、コカ・コーラウエスト（18）2―1東海学院大（3）、ソニー（23）2―2南都銀行（15）、立命大（16）3―1天理大（14）（共同）

ーラウエストは東海学院大に2-1で勝ち、5勝3分け1敗で勝ち点18とし、年間順位を決めるトーナメントに3位で進出した。

コカ・コーラウエストは前半、先制を許した。後半4分、藤井がペナルティーストロークを決め同点にすると、同27分、ペナルティークォーター（P C）から金藤がゴールを決め勝ち切った。ソニーが勝ち点23で1位。山梨学院大が同22で2位となった。

10月14日の準決勝でコカ・コーラウエストは山梨学院大と、ソニーは4位立命大と対戦する。（橋原芽生、写真も）

▽女子

コカ・コーラウエスト20-01東海学院大

(18) 0-1 (3)

1-0

1-0

駿河台大11-00聖泉大

(6) 0-0 (0)

0-0

0-0

山梨学院大22-11グラクソ・スミスクライン

(22) 0-0 (12)

0-0

0-0

ソニー20-02南都銀行

(23) 1-0 (15)

0-1

1-1

立命大30-01天理大

(16) 1-0 (14)

1-0

1-1

▽同順位 ①ソニー 勝ち点23②山梨学院大22③コカ・コーラウエスト18④立命大16⑤南都銀行15⑥天理大14⑦グラクソ・スミスクライン12⑧駿河台大6⑨東海学院大3⑩聖泉大0（1～4位は準決勝進出、5～10位は順位決定戦）

最終戦 意地の逆転

コカ・コーラウエストは、負ければ自力優勝が消滅した最終戦を制した。ホーグッド監督は「主力のけがなどで内容は良くないが、勝ったことは評価したい」とうなずいた。

後半、攻撃的なプレーで好機をつくった。同点の残り3分、P Cから藤井が放ったシュートを金藤がゴール前

で巧みにコースを変える技ありゴール。「前半、ミスで相手ペースになった。ここで決めないと勝てないと思った」と意地を見せた。

リーグ戦では大学生に引き分けたり、1点差で何とか勝ったりと格下に苦戦した。負ければ、他の結果次第で4位以内を逃した最終戦も、東海学院大に苦しんだ。指揮官は「メンタルの準備ができていない」と試合後、選手に課題を説いた。

故障者が多く、10月も苦しい戦いが待つ。大田主将は「気を引き締めて一人一人が責任感あるプレーをしなければ」と3年ぶりの頂点へ、再度チーム一丸を期す。（橋原芽生）

【写真説明】【コカ・コーラウエスト―東海学院大】後半27分、金藤（右端）のゴールで2―1とし、喜ぶコカ・コーラウエストの選手たち

2日の記録 スポーツ

2017/09/03 朝日新聞 朝刊 16 ページ 539 文字

◇ホッケー 日本リーグ

▽男子 小矢部（2勝4敗） 4—2 立命大（2勝4敗）

▽女子 山梨学院大（6勝1敗1分） 6—1 聖泉大（8敗）、グラクソ・スミスクライン（4勝4敗） 3—0 駿河台大（1勝7敗）、天理大（4勝2敗2分） 2—0 東海学院大（1勝7敗）、ソニーHC（7勝1分） 1—0 コカ・コーラウエスト（4勝1敗3分）、南都銀行（4勝2敗2分） 3—1 立命大（4勝3敗1分）

きょうのスポーツ

2017/09/03 朝日新聞 朝刊 19 ページ 849 文字

■ホッケー 日本リーグ（10・00 栃木・日光市ホッケー場ほか）

ホッケー・日本リーグ2日

2017/09/03 東京読売新聞 朝刊 21 ページ 184 文字

▽男子H1

小矢部（勝ち点6） 4—2 立命大（6）

▽女子

山梨学院大（勝ち点19） 6—1 聖泉大（0）

グラクソ・スミスクライン（12） 3—0 駿河台大（3）

天理大（14） 2—0 東海学院大（3）

ソニーHC（22） 1—0 コカ・コーラウエスト（15）

南都銀行（14） 3—1 立命大（13）

ホッケー／日本リーグ

2017/09/03 東奥日報 朝刊 12 ページ 203 文字

ホッケー		日本リーグ	
(2日・立命大茨木ホッケー場ほか)			
▽男子			
小矢部REDOX	4	2	立命大
(6)			(6)
▽女子			
天理大	2	0	東海学院大
(14)			(3)
山梨学院大	6	1	聖泉大
(19)			(0)
ソニー	1	0	コカ・コーラウエスト
(22)			(15)
グラクソ・スミスクライン	3	0	駿河台大
(12)			(3)
南都銀行	3	1	立命大
(14)			(13)

(2日・立命大茨木ホッケー場ほか)

▽男子

小矢部REDOX 4—2 立命大

(6) (6)

▽女子

天理大 2—0 東海学院大

(14) (3)

山梨学院大 6—1 聖泉大

(19) (0)

ソニー 1—0 コカ・コーラウエスト

(22) (15)

グラクソ・スミスクライン 3—0 駿河台大

(12) (3)

南都銀行 3—1 立命大

(14) (13)

◇ホッケー 日本リーグ（2日・立命大茨木ホッケー場ほか）

2017/09/03 岩手日報朝刊 18 ページ 132 文字

▽男子

小矢部 R E D O X

（6）

4—2

立命大

（6）

▽女子

天理大

（14）

2—0

東海学院大

（3）

山梨学院大

（19）

6—1

聖泉大

（0）

ソニー

（22）

1—0

コカ・コーラウエスト

（15）

グラクソ・スミスクライン

（12）

3—0

駿河台大

（3）

南都銀行

（14）

3—1

立命大

（13）

掲載日:2017年09月03日, 面名:スポーツ, 記事ID:KIJ20170903_01010000100707011

(C)下野新聞社 無断複製転載禁止。

グラクソ 地元2連勝

駿河台大に3-0 上位Tに望みつなく

ホッケー 日本リーグ

ホッケー日本女子リーグ第4節第2日は2日、日光市ホッケー場ほかで5試合を行い、グラクソ・スミスクライン(GSK)は駿河台大に3-0で快勝、地元で2連勝を飾った。GSKの通算成績は4勝4敗の勝ち点12で7位のまま。4位との勝ち点差は2となり、1~4位決定トーナメント進出に望みをつないだ。

GSKは第1クォーター9分、FW五島奈奈のゴールで先制。その後も敵陣で機位に展開したものの、守備に阻まれて追加点を奪えなかった。第3クォーター3分、獲得したペナルティゴールで、上位T(ナメント)に進出の可能性があるを残したGSK。沼尾健一監督は「盤がよい形でゲームコントロールできていたと

ベテランMF陣の活躍を勝因に挙げた。リオ五輪代表のMF柴田あかねは「テンポよくパスをつないでチャンスを生み出し、自ら何度もゴ



グラクソ・スミスクライン-駿河台大 第3クォーター3分、グラクソFW狐塚が追加点を挙げる=日光市ホッケー場、三谷千春撮影

イルを襲うなど実力を発揮。それでも「MFでボールを支配していた印象。攻撃に対する姿勢はもっと積極的でない」と納得しなかった。

「リオ五輪で全力を尽くしたから」と今季はチーム活動に集中。次戦は難敵・山梨学院大(スビ

ードのある相手FWにとれだけ食らいつけるか。一攻守の切り替えを意識して、インターバル系のトレーニングに力を入れてきた成果が出てよかった。前半、攻め急いで得点にならなかったため課題はある」

ホッケー日本女子リーグ第4節第2日は2日、日光市ホッケー場ほかで5試合を行い、グラクソ・スミスクライン(GSK)は駿河台大に3-0で快勝、地元で2連勝を飾った。GSKの通算成績は4勝4敗の勝ち点12で7位のまま。4位との勝ち点差は2となり、1~4位決定トーナメント進出に望みをつないだ。

G S Kは第1クォーター9分、F W五島梨奈（ごしまりな）のゴールで先制。その後も敵陣で優位に展開したものの、守備に阻まれて追加点を奪えなかった。

第3クォーター3分、獲得したペナルティコーナー（P C）のリバウンドをF W狐塚美樹（こづかみき）が豪快に決めて追加点。さらにF B尾関愛美（おぜきあいみ）もゴール前の混戦からシュートを決めて突き放した。守備も安定し、相手にゴールを割らせなかった。

第4節最終日は3日、同ホッケー場ほかで5試合を行い、レギュラーステージの順位が確定。G S Kは2位の山梨学院大と対戦する。

▽女子リーグ戦

グラクソ・スミスライン 4勝4敗（1 2） 3（1 - 0, 0 - 0, 2 - 0, 0 - 0） 0 駿河台大 1勝7敗（3）

▽チームの戦いに集中

○…上位トーナメント進出の可能性を残したG S K。沼尾健一（ぬまおけんいち）監督は「中盤がいい形でゲームコントロールできていた」とベテランM F陣の活躍を勝因に挙げた。

リオ五輪代表のM F柴田（しばた）あかねはテンポよくパスをつないでチャンスを生み出し、自ら何度もゴールを襲うなど実力を発揮。それでも「M Fでボールを支配していた印象。攻撃に対する姿勢はもっと積極的がいい」と納得しなかった。

「リオ五輪で全力を尽くしたから」と今季はチーム活動に集中。次戦は難敵・山梨学院大。「スピードのある相手F Wにどれだけ食らいつけるか。ショートパスをつないで攻撃したい」と闘志を燃やした。

G S K・F W狐塚美樹（リバウンドにいち早く反応し、今季初得点となる追加点で勝利に貢献）「攻守の切り替えを意識して、インターバル系のトレーニングに力を入れてきた成果が出てよかった。前半、攻め急いで得点にならなかったのが課題はある」

[写真説明] グラクソ・スミスライン－駿河台大 第3クォーター3分、グラクソF W狐塚が追加点を挙げる＝日光市ホッケー場、三谷千春撮影

◇ホッケー日本リーグ 山学大女子が6ゴール快勝

2017/09/03 山梨日日新聞 16 ページ 572 文字

ホッケーの日本リーグは2日、栃木・日光市ホッケー場ほかで行われ、女子の山梨学院大は聖泉大に6-1で快勝した。通算成績は6勝1分け1敗で2位。

山学大は第1クォーター7分、ペナルティコーナー（P C）から伊藤由貴が決めて先制。第2クォーターは河村元美、小宮晴菜の追加点でリードを広げた。第3クォーターにもP Cなどで2点、第4クォーターには河村がP Cからこの日2点目となるゴールを奪い突き放した。

▽女子

山梨学院 6 (1-0) 1 聖泉大

大 (2-0) (0)

(1 9) (2-1)

(1-0)

天理大 2 (0-0) 0 東海学院

(1 4) (2-0) 大

(0-0) (3)

(0-0)

ソニー 1 (1-0) 0 コカ・コ

(2 2) (0-0) -ラウエ

(0-0) スト

(0-0) (1 5)

グラクソ 3 (1-0) 0 駿河台大

・スミス (0-0) (3)

クライン (2-0)

(1 2) (0-0)

南都銀行 3 (2-1) 1 立命大

(1 4) (0-0) (1 3)

(1-0)

(0-0)

▽男子

小矢部R 4 (0-1) 2 立命大

E D O X (2-0) (6)

(6) (1-0)

(1-1)

ホッケー女子日本L ソニー競り勝つ 東海院大は7敗目

2017/09/03 岐阜新聞朝刊 12 ページ 653 文字

ホッケー女子の日本リーグ第4節第2日は2日、大阪府茨木市の立命館ホリーズスタジアムなどで5試合を行い、ソニーHCはコカ・コーラウエストに1―0で競り勝ち、7勝1分けの勝ち点22で首位をキープ。レギュラーステージ残り1試合を残し、2位の山梨学院大とは勝ち点差3を維持、1位通過に限りなく近づいた。東海学院大は天理大に0―2で敗れ、1勝7敗で、順位は8位のまま。

ソニーは序盤からコカ・コーラと中盤で激しくボールを奪い合う展開となったが、第1クォーター7分、MF真野由佳梨のリバースヒットに、FW小沢菜々恵が見事にタッチで合わせて先制。その後も攻め手を緩めなかったが、追加点を挙げられなかった。守備では、ベテランGK浅野祥代のファインセーブなどでゴールを死守し、序盤に挙げた1点を守り切った。

東海学院大は序盤から積極的にサークル内にボールを入れて攻勢を強めたが、ゴールを割れなかった。すると第2クォーター終盤、わずか3分の間に立て続けに2失点。終盤も相手の堅守を崩すことができずに2試合続けて無得点に終わった。

同節第3日は3日、同スタジアムなどでレギュラーステージの残り5試合を行う。ソニーは1位通過を懸け、南都銀行と対戦。東海学院大はコカ・コーラウエストと戦う。

=県関係分

ソニーHC (22) 1 (1―0、0―0、0―0、0―0) 0 コカ・コーラウエスト (15)

▽得点者【ソ】小沢 (1Q 7分)

天理大 (14) 2 (0―0、2―0、0―0、0―0) 0 東海学院大 (3)

▽得点者【天】森2 (2Q 11分、14分)

ホッケー 日本リーグ (2日・立命大茨木ホッケー場ほか)

2017/09/03 中日新聞朝刊 25 ページ 175 文字

2017年09月03日 中日新聞 朝刊運動3 面 25頁

◇ホッケー 日本リーグ (2日・立命大茨木ホッケー場ほか)
▽男子
小矢部REDOX (6) 4-2 立命大 (6)
▽女子
天理大 (14) 2-0 東海学院大 (3)
山梨学院大 (19) 6-1 聖泉大 (0)
ソニー (22) 1-0 コカ・コー (15)
ラウエスト
グラクソ・ス (12) 3-0 駿河台大 (3)
ミスクリン
南都銀行 (14) 3-1 立命大 (13)

▽男子

小矢部REDOX (6) 4-2 立命大 (6)

▽女子

天理大 (14) 2-0 東海学院大 (3)

山梨学院大 (19) 6-1 聖泉大 (0)

ソニー (22) 1-0 コカ・コー (15)

ラウエスト

グラクソ・ス (12) 3-0 駿河台大 (3)

ミスクリン

南都銀行 (14) 3-1 立命大 (13)

きょうのスポーツ

2017/09/03 中日新聞朝刊 26 ページ 1025 文字

◇ホッケー 日本リーグ (10時・日光市ホッケー場ほか)

ホッケー日本リーグ (2日・立命大茨木ホッケー場ほか)

2017/09/03 神戸新聞朝刊 8 ページ 173 文字

神戸新聞 2017年09月03日 日曜日 面名 SB 148ページ

◆ホッケー日本リーグ(2日・立命大茨木ホッケー場ほか)
【男子】小矢部REDOX (勝ち点6) 4-2立命大(6)
【女子】天理大(14) 2-0東海学院大(3)、山梨学院大(19) 6-1聖泉大(0)、ソニー(22) 1-0コカ・コーラウエスト(15)、グラクソ・スミスクライン(12) 3-0駿河台大(3)、南都銀行(14) 3-1立命大(13)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

◆ホッケー日本リーグ (2日・立命大茨木ホッケー場ほか)

【男子】小矢部REDOX (勝ち点6) 4-2立命大(6)

【女子】天理大(14) 2-0東海学院大(3)、山梨学院大(19) 6-1聖泉大(0)、ソニー(22) 1-0コカ・コーラウエスト(15)、グラクソ・スミスクライン(12) 3-0駿河台大(3)、南都銀行(14) 3-1立命大(13) (共同)

コカが初黒星 ホッケー日本L女子

2017/09/03 中国新聞朝刊 17 ページ 749 文字

中国新聞 2017年9月3日 日曜日 面名 スポーツ 18 17ページ

13 立命大	12 大分大	11 立命大	10 立命大	9 立命大	8 立命大	7 立命大	6 立命大	5 立命大	4 立命大	3 立命大	2 立命大	1 立命大
0102	0201	2211	2211	0020	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13勝大	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

ホッケーの日本リーグ女子第4節第2日は2日、大阪府茨木市の立命大などで5試合があった。コカ・コーラウエストはソニーに0-1で敗れ、今リーグ初黒星を喫した。4勝3分け1敗の勝ち点15で、順位は3位のまま。

コカ・コーラウエストは前半7分に先制を許した。後半は反撃に出たが、ゴールを割れなかった。首位ソニーは7勝1分けで勝ち点を22に伸ばした。(下手義樹)

女王と接戦 監督手応え

○：フィールドプレーヤーの控えが2人と、けが人の相次ぐコカ・コーラウエストが惜敗した。それでもホッケー監督は「高いレベルで戦った。次の対戦で、恐れることはないだろう」と年間順位を決める10月のトーナメントへ、手応えを感じていた。

序盤に先制されたが、以降は集中した守りで追加点を阻んだ。後半は猛攻。積極的な

コカが初黒星 ホッケー日本L女子



【コカ・コーラウエスト「ソニー」後半11分、PCからコカ・コーラウエストの加藤(左端)がシュートを放つが、相手守備陣に阻まれる

コカが初黒星 ホッケー日本L女子

ホッケーの日本リーグ女子第4節第2日は2日、大阪府茨木市の立命大などで5試合があった。コカ・コーラウエストはソニーに0-1で敗れ、今リーグ初黒星を喫した。4勝3分け1敗の勝ち点15で、順位は3位のまま。

コカ・コーラウエストは前半7分に先制を許した。後半は反撃に出たが、ゴールを割れなかった。首位ソニーは7勝1分けで勝ち点を22に伸ばした。(下手義樹)

▽女子

ソニー 1 1 - 0 0 コカ・コーラウエスト

(2 2) 0 - 0 (1 5)

0 - 0

0 - 0

天理大 2 0 - 0 0 東海学院大

(1 4) 2 - 0 (3)

0 - 0

0 - 0

山梨学院大 6 1 - 0 1 聖泉大

(1 9) 2 - 0 (0)

2 - 1

1 - 0

グラクソ・スミスクライン 3 1 - 0 0 駿河台大

(1 2) 0 - 0 (3)

2 - 0

0 - 0

南都銀行 3 2 - 1 1 立命大

(1 4) 0 - 0 (1 3)

1 - 0

0 - 0

女王と接戦 監督手応え

○…フィールドプレイヤーの控えが2人と、けが人の相次ぐコカ・コーラウエストが惜敗した。それでもホーグッド監督は「高い集中力で戦った。次の対戦で、恐れることはないだろう」と年間順位を決める10月のトーナメントへ、手応えを感じていた。

序盤に先制されたが、以降は集中した守りで追加点を阻んだ。後半は猛攻。積極的な仕掛けや5度のペナルティーコーナー（P C）などで、女王ソニーを追い詰めた。

2015年に引退したG K 吉川が補強選手で復帰。2年ぶりに加わったチームに「トップレベルでハードワークできる力がある」と期待感を口にした。

【写真説明】【コカ・コーラウエストーソニー】後半11分、P Cからコカ・コーラウエストの加藤（左端）がシュートを放つが、相手守備陣に阻まれる

3日(日)のスポーツ

2017/09/02 16:01 日経速報ニュース 1498 文字

◇ホッケー = 日本リーグ (10 時、栃木・日光市ホッケー場ほか)

きょうのスポーツ

2017/09/02 朝日新聞 朝刊 15 ページ 811 文字

■ホッケー 日本リーグ (12・00 大阪・立命館ホリーズスタジアムほか)

1日の記録 スポーツ

2017/09/02 朝日新聞 朝刊 15 ページ 156 文字

◇ホッケー 日本リーグ

▽女子 山梨学院大 (5 勝 1 敗 1 分) 3-1 駿河台大 (1 勝 6 敗)、グラクソ・スミスクライン (3 勝 4 敗) 6-0 聖泉大 (7 敗)、南都銀行 (3 勝 2 敗 2 分) 6-0 東海学院大 (1 勝 6 敗)、ソニーHC (6 勝 1 分) 4-1 天理大 (3 勝 2 敗 2 分)、立命大 (4 勝 2 敗 1 分) 1-1 コカ・コーラウエスト (4 勝 3 分)

ホッケー・日本リーグ 1日

2017/09/02 東京読売新聞 朝刊 20 ページ 122 文字

▽女子

南都銀行 (勝ち点 11) 6-0 東海学院大 (3)

ソニーHC (19) 4-1 天理大 (11)

立命大 (13) 1-1 コカ・コーラウエスト (15)

山梨学院大 (16) 3-1 駿河台大 (3)

グラクソ・スミスクライン (9) 6-0 聖泉大 (0)

3日のスポーツ

2017/09/02 共同通信ニュース 1446 文字

◇ホッケー 日本リーグ (10 時・日光市ホッケー場ほか)

ホッケー／日本リーグ

2017/09/02 東奥日報 朝刊 13 ページ 175 文字

立命大	1-1	コカ・コーラウエスト	(13)	(15)
ソニー	4-1	天理大	(19)	(11)
グラクソ・スミスクライン	6-0	聖泉大	(9)	(0)
南都銀行	6-0	東海学院大	(11)	(3)
山梨学院大	3-1	駿河台大	(16)	(3)

▽女子
(1日・日光市ホッケー場ほか)
ホッケー 日本リーグ

(1日・日光市ホッケー場ほか)

▽女子

山梨学院大 3-1 駿河台大

(16) (3)

南都銀行 6-0 東海学院大

(11) (3)

グラクソ・スミスクライン 6-0 聖泉大

(9) (0)

ソニー 4-1 天理大

(19) (11)

立命大 1-1 コカ・コーラウエスト

(13) (15)

◇ホッケー 日本リーグ（1日・日光市ホッケー場ほか）

2017/09/02 岩手日報朝刊 15 ページ 107 文字

▽女子

山梨学院大

（1 6）

3－1

駿河台大

（3）

南都銀行

（1 1）

6－0

東海学院大

（3）

グラクソ・スミスクライン

（9）

6－0

聖泉大

（0）

ソニー

（1 9）

4－1

天理大

（1 1）

立命大

（1 3）

1－1

コカ・コーラウエスト

（1 5）

掲載日:2017年09月02日, 面名:スポーツ, 記事ID:KIJ20170902_01014000100707012

(C)下野新聞社 無断複製転載禁止。



グラクソ・スミスクリン―聖泉大 第1クォーター5分、グラクソDF中村(左)がシュートを狙う
＝日光市ホッケー場、青柳修撮影

日光シリーズ白星発進

グラクソ、聖泉大に完勝

ホッケー 日本リーグ
・スミスクリン(GSK)順位は7位のまま。
ホッケー日本女子リーグ第4節は1日、日光市
Kは10位の聖泉大と対戦、GSKは第1クォー
元3連戦の初戦を白星で飾った。GSKは通算成
績3勝4敗、勝ち点9で、Dの13分にはMF吉田美

瑞穂がペナルティコー
ナー(PC)から3点目。
中盤を支配して第2ク

終始圧倒もPC課題
○リーグ最下位の聖
泉大を圧倒し、地元3連
戦の初戦を快勝したGSK。
K。沿厓健一監督は「内
容は良かったが、決める
べきシュートは決めたか
つた」と課題も挙げた。
序盤からパスをつな
ぎ、前線から積極的なプ
レスを掛けてゲームを支
配した。シュート20本を

4クォーターにも1点ず
つを加え、守備陣も終始
危げなく無失点に抑え
た。
GSKは2日午後3時
20分から、同会場で9位
の駿河台大と対戦する。

▽女子リーグ戦
グラクソ 3-0 聖泉大
スミス 6-0 聖泉大
クラウン 1-0 聖泉大
3勝4敗 0勝敗
GSK・高藤美咲主将

浴びせて今季リーグ最多
の6ゴール。一方、ペナ
ルティコーナー(PC)
からの得点はわずか1点
のみだった。
PCで今季リーグ初得
点を挙げたMF吉田美瑞
穂は「スペースが見えた
ので、パスからシュート
に切り替えた」と話すが、
「チームとして今日はPC
Cはまらなかつた」と
さらなる奮起を誓った。

(地元3連戦の初戦で快
勝)「監督の指示通り、
中盤の選手も点を取るこ
とができた。チームの雰
囲気は良いので次もしっ
かりと勝ちにいきたい」

前線 6 21112 00000 ③	大泉学院 3 20110 10000 ③
13節 1 1000 10000 ③	19節 4 12110 01000 ①
15節 1 1000 10000 ③	11節 1 1000 10000 ③

ホッケー日本女子リーグ第4節は1日、日光市ホッケー場ほかで5試合を行い、7位のグラクソ・スミスクリン(GSK)は10位の聖泉大と対戦、6-0で完勝し、地元3連戦の初戦を白星で飾った。GSK

は通算成績3勝4敗、勝ち点9で順位は7位のまま。

G S Kは第1クォーター7分、ゴール前の混戦からM F 塩入谷雪乃（しおいりたにゆきの）が押し込んで先制。2点リードの13分にはM F 吉田美瑞穂（よしだみずほ）がペナルティコーナー（P C）から3点目。中盤を支配して第2、3、4クォーターにも1点ずつを加え、守備陣も終始危なげなく無失点に抑えた。

G S Kは2日午後3時20分から、同会場で9位の駿河台大と対戦する。

▽終始圧倒もP C課題

○…リーグ最下位の聖泉大を圧倒し、地元3連戦の初戦を快勝したG S K。沼尾健一（ぬまおけんいち）監督は「内容は良かったが、決めるべきシュートは決めたかった」と課題も挙げた。

序盤からパスをつなぎ、前線から積極的なプレスを掛けてゲームを支配した。シュート20本を浴びせて今季リーグ最多の6ゴール。一方、ペナルティコーナー（P C）からの得点はわずか1点のみだった。

P Cで今季リーグ初得点を挙げたM F 吉田美瑞穂は「スペースが見えたので、パスからシュートに切り替えた」と話すが、「チームとして今日はP Cがはまらなかった」とさらなる奮起を誓った。

▽女子リーグ戦

グラクソ・スミスクライン 3勝4敗（9） 6（3-0,1-0,1-0,1-0）0 聖泉大 0勝7敗（0）

G S K・斎藤美咲（さいとうみさき）主将（地元3連戦の初戦で快勝）「監督の指示通り、中盤の選手も点を取ることができた。チームの雰囲気は良いので次もしっかりと勝ちにいきたい」

〔写真説明〕グラクソ・スミスクライン-聖泉大 第1クォーター5分、グラクソD F中村（左）がシュートを狙う=日光市ホッケー場、青柳修撮影

山梨学院大（16） 3（0-0,1-0,0-0,2-1）1 駿河台大（3）

南都銀行（11） 6（2-0,1-0,1-0,2-0）0 東海学院大（3）

ソニー（19） 4（0-0,1-0,2-1,1-0）1 天理大（11）

立命大（13） 1（0-0,0-0,0-0,1-1）1 コカ・コーラウエスト（15）

◇ホッケー日本リーグ 河村ハット 山学大快勝

2017/09/02 山梨日日新聞 16 ページ 478 文字

ホッケーの日本リーグは1日、栃木・日光市ホッケー場ほかで行われ、女子の山梨学院大は駿河台大と対戦し、3 - 1で勝利した。通算成績は5勝1分け1敗で2位。

山学大は第2クォーターに河村元美のゴールで先制した。第4クォーターにも河村が加点し2 - 0。1点差に詰め寄せられたが、終了間際、河村がハットトリックを達成して、勝負を決めた。

▽女子

山梨学院 3 (0 - 0) 1 駿河台大

大 (1 - 0) (3)

(1 6) (0 - 0)

(2 - 1)

南都銀行 6 (2 - 0) 0 東海学院

(1 1) (1 - 0) 大

(1 - 0) (3)

(2 - 0)

グラクソ 6 (3 - 0) 0 聖泉大

・スミス (1 - 0) (0)

クライン (1 - 0)

(9) (1 - 0)

ソニー 4 (0 - 0) 1 天理大

(1 9) (1 - 0) (1 1)

(2 - 1)

(1 - 0)

立命大 1 (0 - 0) 1 コカ・コ

(1 3) (0 - 0) -ラウエ

(0 - 0) スト

(1 - 1) (1 5)

ホッケー女子日本L ソニー快勝 東海院大は大敗

2017/09/02 岐阜新聞朝刊 15 ページ 624 文字

ホッケー女子の日本リーグ第4節第1日は1日、大阪府茨木市の立命館ホリーズスタジアムなどで5試合を行い、ソニーHCはPCからの攻撃がさえ、天理大に4―1で勝ち、通算6勝1分けの勝ち点19で首位をキープした。東海学院大は南都銀行に0―6で敗れ、通算1勝6敗で、順位は8位のまま。

ソニーは、MF永井葉月とFB及川梨がオランダリーグ挑戦のため不在ながら主導権を握って攻め続けた。第2クォーター4分、PCからMF一谷奈歩のフリックシュートで先制。第3クォーターには1分にFB坂井志帆、4分にFW瀬川真帆が、ともにPCから追加点を奪った。その後1点返されたが、第4クォーターには、FW清水美並のゴールで突き放した。

東海学院大は南都銀行の猛攻の前に防戦一方となり、第3クォーター終了時に4点ビハインド。第4クォーターのPCを決め切れずに、さらに2失点を喫してしまった。

同節第2日は2日、同スタジアムなどで5試合を行う。ソニーは現在3位の宿敵コカ・コーラウエストと、東海学院大は天理大と対戦する。

= 県関係分

ソニーHC (19) 4 (0―0、1―0、2―1、1―0) 1 天理大 (11)

▽得点者【ソ】一谷奈 (2Q 4分) 坂井 (3Q 1分) 瀬川 (3Q 4分) 清水 (4Q 2分) 【天】満吉 (3Q 14分)

南都銀行 (11) 6 (2―0、1―0、1―0、2―0) 0 東海学院大 (3)

▽得点者【南】勝又2 (1Q 3分、7分) 早戸 (2Q 1分) 平原 (3Q 3分) 野村2 (4Q 2分、12分)

2017年09月02日 中日新聞 朝刊運動2 面 26頁

立命大	13	19	1	1	1	1	ラウエスト
ソニー	19	4	1	1	1	1	ココ・コー
ミスクリン							天理大
グラクソ・ス	9	6	0	0	0	0	聖泉大
南都銀行	11	6	0	0	0	0	東海学院大
山梨学院大	16	3	1	1	1	1	駿河台大
▽女子							
◇ホッケー							
日光市ホッケー場ほか							
日本リーグ							
（1日・日							

▽女子

山梨学院大（16） 3 - 1 駿河台大（3）

南都銀行（11） 6 - 0 東海学院大（3）

グラクソ・ス（9） 6 - 0 聖泉大（0）

ミスクリン

ソニー（19） 4 - 1 天理大（11）

立命大（13） 1 - 1 コカ・コー（15）

ラウエスト

ホッケー日本リーグ（1日・日光市ホッケー場ほか）

2017/09/02 神戸新聞朝刊 14 ページ 145 文字

神戸新聞 2017年09月02日 土曜日 面名 SB 15 14ページ

◆ホッケー日本リーグ（1日・日光市ホッケー場ほか）
【女子】山梨学院大（勝ち点16）3—1駿河台大（3）、南都銀行（11）6—0東海学院大（3）、グラクソ・スミスクライン（9）6—0聖泉大（0）、ソニー（19）4—1天理大（11）、立命大（13）1—1コカ・コーラウエスト（15）（共同）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

◆ホッケー日本リーグ（1日・日光市ホッケー場ほか）

【女子】山梨学院大（勝ち点16）3—1駿河台大（3）、南都銀行（11）6—0東海学院大（3）、グラクソ・スミスクライン（9）6—0聖泉大（0）、ソニー（19）4—1天理大（11）、立命大（13）1—1コカ・コーラウエスト（15）（共同）

コカ 3位に後退 ホッケー日本L女子

2017/09/02 中国新聞朝刊 18 ページ 743 文字

中国新聞 2017年9月2日 土曜日 面名 スポーツ 1 7 18ページ

コカ 3位に後退

ホッケー日本L女子



ホッケーの日本リーグ女子第4節第1日は1日、大阪府茨木市の立命大などで5試合があった。コカ・コーラウエストは立命大と1-1で引き分けた。4勝3分けの勝ち点は15で、順位は3位に後退した。

【コカ・コーラウエスト-立命大】後半、コカ・コーラウエストの佐藤がゴール前に攻め込むが、GKに阻まれる

ソニー	ライオン	ソラリス	行徳	山梨学院	立命大	▽女子
4	6	6	3	1	1	
1210	1113	2112	2010	1000	1000	
0100	0000	0000	1000	1000	1000	
1	0	0	1	1	1	
天理大	聖徳大	東海学院大	駿河台大	トウエス	コカ・コーラウエスト	
(11)	(0)	(3)	(3)	(15)	(15)	

ゴールで先制したが、22分に同点ゴールを許した。首位のソニーは天理大を4-1で下し、6勝1分けで勝ち点を19に伸ばした。(下手義樹)

○：約3カ月ぶりに再開したリーグで、コカ・コーラウエストは勝ち点3を逃した。ホッケット監督は内容的に悪い。情けない」と頭を抱えた。

「内容的に悪い。情けない」

コカ 痛恨のドロ

こじ開けたが、5分後にカウスターから失点。相手に打たれた唯一のシュートが手痛い同点弾となった。腰の故障で長期離脱中の新井に代わり新主将となった9年目の大田は「チームに油断があり、修正できなかった。相手に合わせてしまい、テンボをつくれなかった」と反省しきりだった。

コカ 3位に後退

ホッケー日本L女子

ホッケーの日本リーグ女子第4節第1日は1日、大阪府茨木市の立命大などで5試合があった。コカ・コーラウエストは立命大と1-1で引き分けた。4勝3分けの勝ち点は15で、順位は3位に後退した。

コカ・コーラウエストは後半17分、笠原のゴールで先制したが、22分に同点ゴールを許した。

首位のソニーは天理大を4-1で下し、6勝1分けで勝ち点を19に伸ばした。(下手義樹)

▽女子

立命大 1 0 - 0 1 コカ・コーラウエスト

(13) 0 - 0 (15)

0 - 0

1 - 1

山梨学院大 3 0 - 0 1 駿河台大

(16) 1 - 0 (3)

0 - 0

2 - 1

南都銀行 6 2 - 0 0 東海学院大

(11) 1 - 0 (3)

1 - 0

2 - 0

グラクソ・スミスクライン 6 3 - 0 0 聖泉大

(9) 1 - 0 (0)

1 - 0

1 - 0

ソニー 4 0 - 0 1 天理大

(19) 1 - 0 (11)

2 - 1

1 - 0

コカ 痛恨のドロー

「内容的に悪い。情けない」

○…約3カ月ぶりに再開したリーグで、コカ・コーラウエストは勝ち点3を逃した。ホーグッド監督は「内容的に悪い。情けない」と頭を抱えた。

守りを固めた立命大に苦戦。高い位置でボールを奪って攻めに転じるが、決定機を生かせない。後半17分に笠原がようやくゴールをこじ開けたが、5分後にカウンターから失点。相手に打たれた唯一のシュートが手痛い同点弾となった。

腰の故障で長期離脱中の新井に代わり新主将となった9年目の大田は「チームに油断があり、修正できなかった。相手に合わせてしまい、テンポをつくれなかった」と反省しきりだった。

【写真説明】【コカ・コーラウエストー立命大】後半、コカ・コーラウエストの佐藤Ⓔがゴール前に攻め込むが、GKに阻まれる

きょうのスポーツ

2017/09/01 朝日新聞 朝刊 19 ページ 404 文字

- ホッケー 日本リーグ（13・40 栃木・日光市ホッケー場ほか）

2日のスポーツ

2017/09/01 共同通信ニュース 1268 文字

- ◇ホッケー 日本リーグ（12時・立命大茨木ホッケー場ほか）

掲載日:2017年09月01日, 面名:スポーツ, 記事ID:KIJ20170901_01010000100705007

きょうから日光S ホッケー日本L女子

ホッケー日本リーグ女子第4節は1〜3日、日光市ホッケー場ほかで行い、本県のグラクソスミスライン(GSK)が地元3連勝に臨む。昨年2位のGSKはここまで2勝4敗勝ち点6の7位。1〜4位決定トーナメント進出に向けて、負けられない日光シリーズ3連戦となる。

GSKは1日(開始午後3時20分)は10位の聖泉大と、2日(同)は9位の駿河台大と対戦。さらに3日午前11時40分から3位の山梨学院大と激突し、レギュラーステージ順位が確定する。最終節は1〜4位、5〜8位の各トーナメントに分かれるため、何としても勝ち点4以内で、何としても勝たなければならない。日本代表選手を多く抱えるソニー戦(0-5)以外の敗戦は全て1点差だっただけに「本当に悔

グラクソ 地元3連勝を

上位T進出 諦めない

3連戦前日の31日は、大学チーム最上位の山梨学院大を想定した攻撃の組み立てやペナルティコーナーの練習に時間を費やした。同大には国体関東ブロック予選で敗れ、雪辱戦でもある。チーム最多5得点のFW五島梨奈は「ピンチでも得点して、自分の仕事を全うしたい。全試合得点していく」と闘志を燃やしている。引き分けにでも持ち込めれば違った」とMF齋藤美咲主将。沼尾健一監督は「得点が取れないから苦しい戦いを強いられている」と6戦9得点の攻撃不振を嘆く。

地元3連戦に向け、前日練習に汗を流すGSKの選手たち＝日光市内



地元3連戦に向け、前日練習に汗を流すGSKの選手たち＝日光市内

上位トーナメントに進出できる4位との勝ち点差は6。険しい道のりだが、齋藤は「社会人の意地を見せたい。地元で応援してくれる人たちのためにも、3連勝で最後まで4位以上を諦めない」と誓った。（鈴木久崇）

ホッケー日本リーグ女子第4節は1～3日、日光市ホッケー場ほかで行い、本県のグラクソスミスクライン（GSK）が地元3連戦に臨む。昨年2位のGSKはここまで2勝4敗勝ち点6の7位。1～4位決定トーナメント進出に向けて、負けられない日光シリーズ3連戦となる。

GSKは1日（開始午後3時20分）は10位の聖泉大と、2日（同）は9位の駿河台大と対戦。さらに3日午前11時40分から3位の山梨学院大と激突し、レギュラーステージ順位が確定する。最終節は1～4位、5～8位の各トーナメントに分かれるため、何としても勝ち点を稼いで4位以内に滑り込みたい。

開幕節第1戦で天理大に敗れるなど3連敗で波に乗れなかったGSKだが、南都銀行と東海学院大に2連勝。その後、立命大に惜敗して今節を迎えている。

日本代表選手を多く抱えるソニー戦（0-5）以外の敗戦は全て1点差だっただけに「本当に悔しい。引き分けにでも持ち込めれば違った」とMF齋藤美咲（さいとうみさき）主将。沼尾健一（ぬまおけんいち）監督は「得点が取れないから苦しい戦いを強いられている」と6戦9得点の攻撃不振を嘆く。

3連戦前日の31日は、大学チーム最上位の山梨学院大を想定した攻撃の組み立てやペナルティーコーナーの練習に時間を費やした。同大には国体関東ブロック予選で敗れ、雪辱戦でもある。チーム最多5得点のFW五島梨奈（ごしまりな）は「ピンチでも得点して、自分の仕事を全うしたい。全試合得点していく」と闘志を燃やしている。

上位トーナメントに進出できる4位との勝ち点差は6。険しい道のりだが、齋藤は「社会人の意地を見せたい。地元で応援してくれる人たちのためにも、3連勝で最後まで4位以上を諦めない」と誓った。（鈴木久崇（すずきひさか））

〔写真説明〕 地元3連戦に向け、前日練習に汗を流すGSKの選手たち＝日光市内

1日のスポーツ

2017/08/31 共同通信ニュース 487文字

◇ホッケー 日本リーグ（13時40分・日光市ホッケー場ほか）

Appendix

【ひろしま勝負メシ】 寮近くの居酒屋「楽市楽座」 ホッケー女子 コカ・コーラウエストレッドスパークス
試合もオフも 見守る夫婦

2017/09/02 中国新聞セレクト 13 ページ 1464 文字

中国新聞 2017年9月2日 土曜日 面名 セくらし セレクト 13ページ



寮近くの居酒屋「楽市楽座」

ホッケー女子 コカ・コーラウエストレッドスパークス

斉藤さん夫婦（左から3、4人目）とにぎやかにおしゃべりを楽しみながら、
夕食をとる笠原（左端）、金藤（左から2人目）、大田（右端）の各選手



ホッケー女子、コカ・コーラウエストレッドスパークスの寮が、
職場に近い広島市中心部から安佐
南区西原に移ったのは2011年
9月。国際大会も開くことができ
る安佐北区の専用グラウンドと職
場の真ん中辺りに広がる住宅街に
替わった。
マンションや民家が立ち並ぶ西
原地区にある居酒屋「楽市楽座」

試合もオフも見守

る夫婦



店内にあるレッドスパークスゆかりのグッズ。左は選手の親のキープボトル（いずれも撮影・安部慶彦）

に、女子ばかり20人の予約が入ったのは、それからしばらくしてから。ラフな格好で小上がりの一角を占領し、がらがん食べて飲んで、しゃべりまくり、笑いまくる。「電話じゃ、しおらしくったのに、この子らなんじゃろうかと」。店主の斉藤正之さん（44）が、楽しそうに振り返る。勘定の時にホッケーチームと分かり、一気に打ち解けたという。

取材の日、お店にやってきたのはチーム一のベテランで主将、DF大田昭子選手（30）とFWの金藤祥子選手（24）、笠原佳乃選手（26）の3人だ。アルコールなしのこの日の乾杯は、やっぱりコココーラ。枝豆、サラダ、刺し身の盛り合わせ、ホルモン炒め、地鶏のレモン焼き、卵焼き、キムチチャーハン…。満遍なく、とんとん頼む。

「休みに玄界灘でイカを釣ってきたんよ。焼こうかと」斉藤さんが声を掛ける。妻の深雪さん（44）と2人で100匹以上をさきほいて、店内に干したという。「おっちゃん、私も釣りにデビューしたんですよ」と金藤さんが口火を切ると、おしゃべりが止まらなくなった。レッドスパークスはチームの半数以上が関西人。斉藤さん夫婦を「おっちゃん」「おばちゃん」と慕う。金藤選手も滋賀、笠原選手は大阪だ。「フレンドリーで、居心地がいい」と3人。メニューも豊富で、何でもおいしい。オフの夜、試合前の決起集会など、このあつこいことに通う。

リーグ戦で年に1度、広島で試合があるときは、応援に来た実家の家族が寮に泊まる。自然と親も常連になり、焼酎のボトルキープも。カウターのネタケースには応援タオルがかかるなど、店のあちこちにレッドスパークスを見ることのできる。斉藤さんたちも試合会場に足を運び始めた。「夏場は体重が落ちると走れなくなるからね」。3人はサーモン、ポタニエビ、甘エビ、タイ、ホタテのすしを追加注文。「リラックステして、しっかり食べてもらって。この子らの力になれば、それが一番です」。店先ここでチームを見守る。（増田泉子）

1996年、山陽コカ・コーラホッケー部としてスタート。2005年から日本リーグに参戦し、11年、日本リーグ、全日本社会人選手権の2冠、12年は全日本選手権を加え3冠、14年はリーグ、全日本社会人、国体の3冠を達成。広島市を拠点に活動し、部員は20人。安佐北区安佐町毛木に専用のホッケースタジアムがある。今季は3年ぶりのリーグ女王奪還を目指す。

＜スケジュール＞日本リーグ 2日 ソニー（大阪・立命大スタジアム）、3日 東海学院大（同）▽全日本社会人選手権 16～19日（福井県立ホッケー場など）▽国体 10月1～5日（愛媛・伊予市民競技場）



「コカコーラウエストレッドスパークス」

【ひろしま勝負メシ】

寮近くの居酒屋「楽市楽座」

ホッケー女子 コカ・コーラウエストレッドスパークス

試合もオフも 見守る夫婦

ホッケー女子、コカ・コーラウエストレッドスパークスの寮が、職場に近い広島市中心部から安佐南区西原に移ったのは2011年9月。国際大会も開くことができる安佐北区の専用グラウンドと職場の真ん中辺りに広がる住宅街に替わった。

マンションや民家が立ち並ぶ西原地区にある居酒屋「楽市楽座」に、女子ばかり20人の予約が入ったのは、それからしばらくしてから。ラフな格好で小上がりの一角を占領し、がらがん食べて飲んで、しゃべりまくり、笑いまくる。「電話じゃ、しおらしくったのに、この子らなんじゃろうかと」。店主の斉藤正之さん（44）が、楽しそうに振り返る。勘定の時にホッケーチームと分かり、一気に打ち解けたという。

取材の日、お店にやってきたのはチーム一のベテランで主将、DF大田昭子選手（30）とFWの金藤祥子選手（24）、笠原佳乃選手（26）の3人だ。アルコールなしのこの日の乾杯は、やっぱりコココーラ。枝豆、サラダ、刺し身の盛り合わせ、ホルモン炒め、地鶏のレモン焼き、卵焼き、キムチチャーハン…。満遍なく、とんとん頼む。

「休みに玄界灘でイカを釣ってきたんよ。焼こうかと」斉藤さんが声を掛ける。妻の深雪さん（44）と2人

で100匹以上をさばいて、店内に干したという。「おっちゃん、私も釣りデビューしたんですよ」と金藤さんが口火を切ると、おしゃべりが止まらなくなった。

レッドスパークスはチームの半数以上が関西人。齊藤さん夫婦を「おっちゃん」「おばちゃん」と慕う。金藤選手も滋賀、笠原選手は大阪だ。「フレンドリーで、居心地がいい」と3人。メニューも豊富で、何でもおいしい。オフの夜、試合前の決起集会など、ことあるごとに通う。

リーグ戦で年に1度、広島で試合があるときは、応援に来た実家の家族が寮に泊まる。自然と親も常連になり、焼酎のボトルキープも。カウンターのネタケースには応援タオルがかかるなど、店のあちこちにレッドスパークスを見ることができる。齊藤さんたちも試合会場に足を運び始めた。

「夏場は体重が落ちると走れなくなるからね」。3人はサーモン、ボタンエビ、甘エビ、タイ、ホタテのすしを追加注文。「リラックスして、しっかり食べてもらって…。この子らの力になれば、それが一番です」。店丸ごとでチームを見守る。(増田泉子)

【コカ・コーラウエストレッドスパークス】

1996年、山陽コカ・コーラホッケー部としてスタート。2005年から日本リーグに参戦し、11年、日本リーグ、全日本社会人選手権の2冠、12年は全日本選手権を加え3冠、14年はリーグ、全日本社会人、国体の3冠を達成。広島市を拠点に活動し、部員は20人。安佐北区安佐町毛木に専用のホッケースタジアムがある。今季は3年ぶりのリーグ女王奪還を目指す。

<スケジュール> 日本リーグ 2日 ソニー（大阪・立命大スタジアム）、3日 東海学院大（同）▽全日本社会人選手権 16～19日（福井県立ホッケー場など）▽国体 10月1～5日（愛媛・伊予市民競技場）

【写真説明】齊藤さん夫婦（左から3、4人目）とにぎやかにおしゃべりを楽しみながら、夕食をとる笠原（左端）、金藤（左から2人目）、大田（右端）の各選手（撮影・安部慶彦）

【写真説明】店内にあるレッドスパークスゆかりのグッズ。左は選手の親のキープボトル（撮影・安部慶彦）

【写真説明】コカ・コーラウエストレッドスパークス

けいざいフラッシュ：パラスポーツの日 グラクソ・スミスクライン

2017/09/04 毎日新聞 朝刊 9ページ 351文字

製薬会社のグラクソ・スミスクラインは「パラスポーツの日」の8月25日、障害者サポート・パラスポーツ支援をテーマにしたトークショーを東京都内で開催した＝写真。

多様性を受け入れる職場づくりを目指そうと、同社社員でロンドン・パラリンピック競泳女子100メートル背泳ぎ（視覚障害）金メダリストの秋山里奈さん▽リオデジャネイロ五輪ホッケー女子日本代表の柴田あかねさん▽ロシア・デフリンピック（聴覚障害者による国際スポーツ大会）スノーボード女子日本代表の手塚久野さんらが登壇。約300人が聴き入った。秋山さんは「支えてくれる仲間感謝したい。これからはひとりで仕事ができるように自立していきたい」と語った。

■写真説明 トークショーに参加した手塚久野さん（前列左）と柴田あかねさん（同中央）、秋山里奈さ

ん（同右）

適性のある競技見つけて トライアウト 小中生40人が見学 15種目、魅力をPR



参加者らにフェンシングの実演を披露する競技団体。佐賀市の県総合体育館

佐賀市 唐津市

2023年の「アウト」を開いた。県内から小学6年生から中学3年生までの約40人がホッケーやフェンシング、水球などさまざまな競技の魅力に触れた。

大会へ向け、県競技力向上対策本部が3日、佐賀市と唐津市の2会場で県内初の「競技・種目転向型トライアウト」を開いた。県内から小学6年生から中学3年生までの約40人がホッケーやフェンシング、水球などさまざまな競技の魅力に触れた。

9日から12月3日にかけて各競技ごとに体験会を開く。申し込みや問い合わせは同対策本部事務局、電話0952(30)5888。(花木芙美)

ツを知ってもらい、自分の適性に合った種目を見つけてもらう選手発掘事業の一環。トライアウトは「適性検査」を意味している。中学や高校から始めても全国トップクラスで戦える競技として、国体競技に採用されている15競技を紹介。この日は2会場で、各競技団体のメンバーらが映像や実演を交えて競技の魅力や競技に有利な能力について語った。ほかのスポーツから転向し活躍している選手の紹介もあった。

三日月中のバレー部に所属する藤木耕基さん(14)＝小城市＝は「母に連れられてきた。ボクシングとフェンシングがかっこよかった」と話していた。

佐賀市

唐津市

2023年の佐賀国体・全国障害者スポーツ大会へ向け、県競技力向上対策本部が3日、佐賀市と唐津市の2会場で県内初の「競技・種目転向型トライアウト」を開いた。県内から小学6年生から中学3年生までの約40人がホッケーやフェンシング、水球などさまざまな競技の魅力に触れた。

小中学生に多様なスポーツを知ってもらい、自分の適性に合った種目を見つけてもらう選手発掘事業の一環。トライアウトは「適性検査」を意味している。

中学や高校から始めても全国トップクラスで戦える競技として、国体競技に採用されている15競技を紹介。この日は2会場で、各競技団体のメンバーらが映像や実演を交えて競技の魅力や競技に有利な能力について語った。ほかのスポーツから転向し活躍している選手の紹介もあった。

三日月中のバレー部に所属する藤木耕基さん(14)＝小城市＝は「母に連れられてきた。ボクシングとフェンシングがかっこよかった」と話していた。

9日から12月3日にかけて各競技ごとに体験会を開く。申し込みや問い合わせは同対策本部事務局、電話0952(30)5888。(花木芙美)

球技の楽しさを伝える／宮崎市／トップ選手が指導

2017/09/03 宮崎日日新聞朝刊 21 ページ 411 文字

トップレベルの選手が子どもたちに球技の楽しさを伝える「SOMP Oボールゲームフェスタ」（日本トップリーグ連携機構主催）は2日、宮崎市中心公園などであった。

このイベントは2006年から全国各地で実施しており、同市では初めて。

参加者のうち、小学4～6年の194人はフットサル、タグラグビー、バスケットボール、ホッケーの4種目に挑戦。各競技で日本代表に選ばれるなど、トップレベルの選手らから指導を受けた。

ホッケーでは「ドリブルのときは、スティックからボールを離さないようにすると速く走れる」などとアドバイス。講師との交流試合などにも汗を流した。

バスケットボールのチームに所属する同市広瀬北小6年山口武宏君（12）は、タグラグビーを初めてプレー。「普段使うボールと形が違い、投げにくかった。やっていくうちにルールを覚え、とても楽しめた」と笑顔を見せた。

■

写真説明／タグラグビーを体験する参加者ら＝2日午後、宮崎市中心公園

20年東京五輪・パラリンピック：日光市ホッケー場視察 五輪組織委、試合も観戦 / 栃木

2017/09/02 毎日新聞 地方版 21 ページ 384 文字

2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会は1日、大井ふ頭中央海浜公園（東京都品川区、大田区）で開催するホッケーの参考にするため日光市ホッケー場を視察した。

東京五輪では、同公園にホッケー場4面を整備。日光市には市ホッケー場と、隣接する今市青少年スポーツセンターの計2面の人工芝ホッケー場がある。

日光市ホッケー場では1～3日、ホッケー日本リーグ女子の試合を開催。この日、組織委の一行は試合中の人工芝に水分を保つために必要な散水装置や試合運営などについて日本リーグ関係者と意見を交わし、試合を見学した。

◇

日光市に拠点を置くグラクソスミスライン（7位）は1日、10チーム中最下位の聖泉大（滋賀県彦根市）に6－0で快勝。2日は駿河台大、3日は山梨学院大と対戦する。【花野井誠】

■写真説明 人工芝の散水装置をチェックする組織委のメンバーら＝日光市ホッケー場で

東京五輪組織委 ホッケー場視察 日光＝栃木

2017/09/02 東京読売新聞 朝刊 24 ページ 368 文字

2020年東京五輪・パラリンピック大会組織委員会の関係者が1日、五輪のホッケー会場整備のため、日光市根室の市ホッケー場を視察した。

視察に訪れたのは、組織委の近藤聡史ホッケースポーツマネジャーのほか、会場整備や大会準備運営の担当者9人。一行は、県ホッケー協会の青木一明理事長らの案内で、人工芝の感触やコートに水をまく散水施設を確かめたほか、日本リーグ女子の試合も観戦した。

五輪のホッケー会場は、東京都立大井ふ頭中央海浜公園（東京都品川区・大田区）内で、新たに人工芝のコート4面を整備する。同市の市ホッケー場は日本ホッケー協会公認で、日本リーグや国体の会場としても利用されており、近藤マネジャーは「日光市の施設を参考に計画を作りたい」と話した。

写真＝ホッケー場の散水施設を確かめる組織委関係者（1日、日光市根室の市ホッケー場で）

掲載日:2017年09月02日, 面名:スポーツ, 記事ID:KIJ20170902_01014000100707009

東京五輪組織委関係者 日光市ホッケー場視察



ホッケー場の施設を視察する東京五輪・パラリンピック組織委のメンバー＝日光市ホッケー場

2020年東京五輪・パラリンピックでホッケー競技場の整備を進める大会組織委員会関係者が1日、日光市根室の同市ホッケー場を訪れ、施設や競技の運営状況などを視察した。同市によると、大会組織委が同ホッケー場を訪れるのは初め

て。同組織委スポーツ局のメンバーら9人がピッチ脇に設置された散水銃などを視察。会場でこの日行われた日本リーグ女子の試合も観戦した。

東京都によると、ホッケー競技場は品川区の大井ふ頭中央海浜公園内に整備する計画。2017年度に着工し、大会前年の19年度中の完成を予定している。

2020年東京五輪・パラリンピックでホッケー競技場の整備を進める大会組織委員会関係者が1日、日光市根室の同市ホッケー場を訪れ、施設や競技の運営状況などを視察した。同市によると、大会組織委が同ホッケー場を訪れるのは初めて。

同組織委スポーツ局のメンバーら9人がピッチ脇に設置された散水銃などを視察。会場でこの日行われた日本リーグ女子の試合も観戦した。

東京都によると、ホッケー競技場は品川区の大井ふ頭中央海浜公園内に整備する計画。2017年度に着工し、大会前年の19年度中の完成を予定している。

県ホッケー協会の青木一明（あおきかずあき）理事長は「組織委に協力できることは協力したい」と話していた。

[写真説明] ホッケー場の施設を視察する東京五輪・パラリンピック組織委のメンバー＝日光市ホッケー場

目指せスポーツ国際舞台

国際舞台で活躍できる選手の発掘を目指す「みしまジュニアスポーツアカデミー」事務局は1日、第3期生の募集を始めた。部活動や学校で経験できない計6競技を約1年間にわたり体験し、適正や本人の意向を踏まえた上で各競技団体での育成に移行する。

競技は自転車、陸上、ホッケー、レスリング、ボートで、今期からフェ

みしまジュニアアカデミー

ンシング（サーブル）を加える。いずれも市内や近隣に指導体制がある。10月に選考会を行い、身体能力の高い20～30人

小6～中2を募集

を選抜する。選拔された選手は11月から基礎トレーニングや競技体験プログラムに参加できる。対象者は市内在住、在学の小学6年から中学2年。

選考内容は新体カテストに準ずる。スポーツアカデミーは2020年東京五輪を見据えて事業化した。同様の取り組みを市町村単位で実施しているのは三島を含め全国で2例のみという。

1期生は18人が参加し、うち4人が自転車、陸上、ボートの各競技に本格的に取り組み始めたという。（三島支局・河村英之）

国際舞台で活躍できる選手の発掘を目指す「みしまジュニアスポーツアカデミー」事務局は1日、第3期生の募集を始めた。部活動や学校で経験できない計6競技を約1年間にわたり体験し、適正や本人の意向を踏まえた上で各競技団体での育成に移行する。

競技は自転車、陸上、ホッケー、レスリング、ボートで、今期からフェンシング（サーブル）を加える。いずれも市内や近隣に指導体制がある。

10月に選考会を行い、身体能力の高い20～30人を選抜する。選拔された選手は11月から基礎トレーニングや競技体験プログラムに参加できる。対象者は市内在住、在学の小学6年から中学2年。選考内容は新体カテストに準ずる。

スポーツアカデミーは2020年東京五輪を見据えて事業化した。同様の取り組みを市町村単位で実施しているのは三島を含め全国で2例のみという。

1期生は18人が参加し、うち4人が自転車、陸上、ボートの各競技に本格的に取り組み始めたという。

(三島支局・河村英之)

ホッケー日本代表DF亀山（巻総合高出）

ホッケーの日本代表DF亀山紅葉（福井工大4年・巻総合高出）が2020年東京五輪を目指し奮闘している。15年に東京へ向けた強化候補選手に選ばれ、今年はコンスタントに日本代表に招集。ワールドカップ（W杯）予選を兼ねた7月のワールドリーグ準決勝ラウンドでもレギュラーとして存在感を発揮した。

東京五輪へ飛躍期す



北信越国体で成年男子新潟チームのDFとしてプレーした亀山（25日、福井県）

かめやま・こうよう 1995年9月18日生まれ。巻東中、巻総合高出。ホッケーは小学4年から地元クラブで始めた。185㍍、74㍏。

速さ持ち味先発で存在感

「185㍍の長身を生かした「リーチとスピードで相手を追い抜く動き」が持ち味。代表ではサッカーのサイドバックに当たるサイドハーフを務める。豊富な運動量が要求され、守備だけでなく、攻撃の起点にもなる重要なポジションだ。」

「をやるか」と課題を挙げた。先の北信越国体では本県の成年男子チームの一員として出場した。本国体切符獲得はならなかったが、安定したプレーを披露。主将の山本佳佑は「見ていて安心する。代表入りしたことで、自分たちのモチベーションになった」と話した。亀山は東京五輪について「出るだけでなく、活躍しなければならぬ」と熱く語る。ホッケー代表はW杯出場を決めた女子「さくらジャパン」の認知度が高いが、男子はまだまだ。「女子は結果を残して五輪にも出ている。自

ホッケーの日本代表DF亀山紅葉（福井工大4年・巻総合高出）が2020年東京五輪を目指し奮闘している。15年に東京へ向けた強化候補選手に選ばれ、今年はコンスタントに日本代表に招集。ワールドカップ（W杯）予選を兼ねた7月のワールドリーグ準決勝ラウンドでもレギュラーとして存在感を発揮した。

185センチの長身を生かした「リーチとスピードで相手を追い抜く動き」が持ち味。代表ではサッカーのサイドバックに当たるサイドハーフを務める。豊富な運動量が要求され、守備だけでなく、攻撃の起点にもなる重要なポジションだ。

ワールドリーグでは格上のチームと当たることが多く5戦全敗、10位に終わり、W杯出場を逃した。「失点

が多く悔しかった。自分たちの思うようにプレーができなかった」と振り返り、「疲れた中で、いかに集中を切らさず100%に近いプレーをやるか」と課題を挙げる。

先の北信越国体では本県の成年男子チームの一員として出場した。本国体切符獲得はならなかったが、安定したプレーを披露。主将の山本佳佑は「見ていて安心する。代表入りしたことで、自分たちのモチベーションになった」と話した。

亀山は東京五輪について「出るだけでなく、活躍しなければならない」と熱く語る。ホッケー代表はW杯出場を決めた女子「さくらジャパン」の認知度が高いが、男子はまだまだ。「女子は結果を残して五輪にも出ている。自然とメディアに取り上げられ、応援してくれる人が増える」。そのため、東京五輪で結果を残したいという思いが強い。

忙しい中、帰省した折には中学、高校生に指導する。「下の世代も頑張ってもらいたい」とホッケーのまち・巻から自分に続く選手の登場を心待ちにしている。

<かめやま・こうよう> 1995年9月18日生まれ。巻東中、巻総合高出。ホッケーは小学4年から地元クラブで始めた。185センチ、74キロ。

【写真】北信越国体で成年男子新潟チームのDFとしてプレーした亀山 = 25日、福井県

篠山 豪州代表コーチ マークさん伝授 ホッケー 最高峰の技 中高大生80人に 守備分かりやすく
2017/08/30 神戸新聞地方版 27ページ 618文字

神戸新聞 2017年08月30日 水曜日 面名 丹波 13 27ページ

ホッケーの元オーストラリア代表でアテネ五輪金メダリストのマーク・ヒックマンさん(44)が29日、篠山市郡家の篠山総合スポーツ

篠山

センターを訪れ、市内外の中学生から大学生まで約80人に世界最高峰の技を伝授した。

(尾藤央一)

豪州代表コーチ マークさん伝授



篠山市や県ホッケー協会 選手の育成に力を入れておなどの主催。ホッケーが盛り、競技力向上を目的に開んな同市は東京五輪に向け かれた。31日まで。

ホッケー 最高峰の技 中高大生80人に 守備分かりやすく



①マーク・ヒックマンさん(左)から指導を受ける中学生たち
②日本語で前向きな言葉を選手に掛けるマークさん
(左)いずれも篠山総合スポーツセンター

オーストラリア代表は世界ランク上位の強豪。マークさんは現役時にゴールキーパー(GK)として活躍し、2004年のアテネ五輪で優勝に貢献した。13年から同代表でコーチを務めている。親交の深い元日本代表の飛田尚彦さん(40)は「猪名川町」が通訳を担当した。

3グループに分かれ、1時間半ずつ指導を受けた。優勝目指し頑張りたい」と気持ち新たに話した。

マークさんはタブレット端末で撮影した映像を見せながら体の使い方やセーブの仕方などを解説。練習中は「いいぞ」と日本語で声を掛けるなど選手と触れ合い和やかな雰囲気だった。

市内の中学生でつくる「篠山・丹南中ホッケー部」は今夏の全国大会で男女と

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

ホッケーの元オーストラリア代表でアテネ五輪金メダリストのマーク・ヒックマンさん(44)が29日、篠山市郡家の篠山総合スポーツセンターを訪れ、市内外の中学生から大学生まで約80人に世界最高峰の技を

伝授した。（尾藤央一）

篠山市や県ホッケー協会などの主催。ホッケーが盛んな同市は東京五輪に向け選手の育成に力を入れており、競技力向上を目的に開かれた。31日まで。

オーストラリア代表は世界ランク上位の強豪。マークさんは現役時にゴールキーパー（GK）として活躍し、2004年のアテネ五輪で優勝に貢献した。13年から同代表でコーチを務めている。親交の深い元日本代表の飛田尚彦さん（40）＝猪名川町＝が通訳を担当した。

3グループに分かれ、1時間半ずつ指導を受けた。マークさんはタブレット端末で撮影した映像を見せながら体の使い方やセーブの仕方などを解説。練習中は「いいぞ」と日本語で声を掛けるなど選手と触れ合い和やかな雰囲気だった。

市内の中学生でつくる「篠山・丹南中ホッケー部」は今夏の全国大会で男女とも16強。GKとして2試合に出場した丹南中2年の檜皮（ひわだ）哲希さん（13）は「足の向き次第で防げる範囲も広がることが実感できた。全国優勝目指し頑張りたい」と気持ちを新たにした。

【写真説明】マーク・ヒックマンさん（左）から指導を受ける中学生たち

【写真説明】日本語で前向きな言葉を選手に掛けるマークさん（左）＝いずれも篠山総合スポーツセンター